

周作クラブ会報

(第37号)

2009年11月28日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

- 総会関連 (1-4-5面)
- 第13回「周作忌」の集い (2-3面)
- 「原点の旅」参加者募集 (4面)
- 原稿発掘「あなたに似た人」 (8面)
- 「遠藤周作学会」報告 (9面)

報告 — 第9回定時総会

周作クラブ10年目に入る

会員は今年も増加、新年度の活動に意欲

2009年9月29日(火)午後4時から、東京神田一ツ橋の「如水会館」で、「周作クラブ」第9回定時総会が開催された。出席者35名、委任状256通で総会は成立し、予定されたすべての議案が審議・承認され、午後5時に滞りなく終了した。

開会にあたり、加賀会長も黒井顧問も折悪しく所用が重なって欠席のため、宮辺幹事より会員数の報告があった。昨年度開始時点の2008年9月1日に494名だった周作クラブ会員数は、今年度開始時点の2009年9月1日には502名となり、一年間で8名の増加となった。新入会員数49名に対して、退会数41名(うち退会を申し出られた方が15名で、残りは会費未納・転居先不明・ご逝去によるもの)だった。一年間で49名の新規加入者は若い人も多いとのこと、尚、9月1



総会の会場に集まった会員たち

日から総会当日までの間に既に3名の入会者がいることが報告された。次いで岡田厚美さんが議長に選出され、議事進行に入った。



議事進行役の左から岡田・高橋・宮辺氏

●第1号議案—前年度事業報告(高橋千劍破幹事)

昨年9月29日の周作忌から本年8月までの全事業(東京浅草を中心にした遠藤文学原点の旅や勉強会、会報発行等)について報告、拍手を持って承認された。

●第2号議案—前年度会計報告(宮辺尚幹事)

前年度の収入は、前々年度からの繰越金を含めて3,566,256円、支出は1,886,129円、本年度への繰り越しが1,680,127円。その内訳が報告されたのち、会計監査の光武喜代人さんの監査報告があり、拍手で承認された。

●第3号議案—役員・委員について

(加藤宗哉幹事欠席により高橋千劍破幹事)

今期は役員改選の年ではないため、

現役員・委員が前期に引き続いて務めることが報告され、役員・委員の名前が読み上げられた。

●第4号議案—今年度事業計画(高橋千劍破幹事)

この総会後に開かれる「周作忌」の集いについての案内に始まり、1月下旬の新年会、5月中旬の遠藤文学原点の旅、会報発行予定等が「発表(4ページ参照)」され、拍手を持って承認された。また宮辺幹事から今年度も8月に会員名簿の改訂版を発行するかどうか意見を求めたという提案があり、一年おきの発行でもいいのではないかと、いや会員の入会退会数は多いのだから毎年必要だなどと、会場から活発な意見が寄せられた。論議の末、この件は幹事一任となった。

●第5号議案—今年度予算案(宮辺尚幹事)

収入予定は3,458,767円、支出予定は2,137,800円、予備費1,320,967円。その内訳が説明され、拍手で承認された。

以上で議案はすべて終了し、続いて関西支部から、急用で出席できなくなった横井世話人に代わり、妹尾貴美氏が昨年度の活動と今年度の予定について報告。最後に周作クラブ長崎の高尾直子代表が挨拶をして閉会となった。

(報告・宮辺尚)